

2023年1月17日

エア・ウォーター株式会社

株式会社桂通商

「熊本低温物流センター」の新設および

物流2024年問題*を見据えた流通改革・コールドチェーンによる青果物流の推進について

エア・ウォーターグループは、今後の企業成長に向け、これまでの事業展開で培った農産加工技術と物流インフラの機能を組み合わせることで、フードロスの低減や食料自給率の向上をはじめ、生産者と消費者の視点に立った新しい農産事業のビジネスモデルを構築し、地域の農業振興に貢献していくことを目指しています。

こうした成長方針の下、この度、エア・ウォーターグループの物流事業会社である株式会社桂通商（本社：京都府京都市、以下、桂通商）は、熊本県の主力産業である農業の担い手不足や物流2024年問題*といった社会課題の解決を目指し、熊本県玉名市に低温物流センターを建設することを決定しましたので、お知らせいたします。

なお、着工は2023年6月、稼働開始は2024年2月を予定しています。ドライバー不足などに起因する運べない時代に対応するとともに、コールドチェーンを活かした高付加価値物流を通じて、「地域を起点とする農産流通事業」を推進してまいります。

※物流2024年問題：トラックドライバーの時間外労働時間上限が制限されるなど、トラック運送業界の働き方改革に伴う諸問題

記

1. エア・ウォーターグループの農産流通事業の取り組み

エア・ウォーターグループは、1929年に札幌で産業・医療用ガスの供給事業を開始して以来、エネルギーや農業・食品、物流など事業領域を広げながら、産業や暮らしを支える様々な事業を展開しています。

そして、グループが有する多様な事業領域と地域の事業基盤を活用し、気候変動や超高齢化といった社会課題を踏まえた2つの成長軸である「地球環境」と「ウェルネス」に沿って、事業活動を通じた社会課題の解決により持続的な成長と企業価値の向上を図っていくことを今後の成長方針として定め、その実現に向けた様々な取り組みを推進しています。

その中でも「ウェルネス」領域においては、農産物の調達・加工・販売に至るバリューチェーンと全国をカバーする物流ネットワークを掛け合わせた「地域を起点とする農産流通事業」の構築に注力しています。

具体的には、産地から消費地へ至る流通経路において、いつでも安定した量と品質をお届けできる仕組みを構築するとともに、その青果の付加価値を向上させるため、青果物流、食品加工、青果販売などへの事業展開を積極的に進めています。こうした取り組みにより、販路拡大などによる地域農業の振興に加え、規格外農産物の有効活用による廃棄ロス低減、ひいては食料自給率の向上などに貢献することを目指しています。

2. 低温物流センター建設の目的

桂通商は、関西圏に冷蔵倉庫を複数有し、青果物の鮮度を保持した低温保管・輸送を主力の事業としています。現在、熊本県を産地とする青果物の輸送は、大型車両による長距離輸送が主軸です。例えば、大消費地である関東までの輸送では、走行距離が片道 1,100 km を超え、その長時間運転はドライバーにとって大きな負担となっています。また、荷積み・荷下ろしなどの荷役作業や長時間の待機など対処すべき課題も山積しています。

こうした中、桂通商は、国内有数の農産地である熊本県内に低温物流センターを建設。県内各地から集荷した青果物を保管し、積み合わせを行う共同センターとしての機能を果たすことで、荷役作業の効率化やトラック積載率の向上を図り、法改正を見据えた持続可能な青果物輸送に対応します。

また、低温物流センターの整備により、選果後の低温保管による出荷タイミングの調整が可能となるほか、品目ごとに最適な温度管理を徹底し、青果物の品質維持にも取り組みます。

さらに、桂通商が有する京都市、兵庫県西脇市、大阪市の自社物流施設においても、物流中継拠点としての機能整備を進め、大消費地までの長距離輸送における効率的な輸送とコールドチェーンを駆使した付加価値の高い物流モデルを構築いたします。

これらの取り組みに加え、将来的には、エア・ウォーターグループが有する農産加工の技術や青果小売のネットワークも活用し、熊本県の農業のさらなる発展と消費地への安定した青果物供給に貢献してまいります。

3. 背景

熊本県農業協同組合連合会（JA 熊本経済連）様、熊本県果実農業協同組合連合会（JA 熊本果実連）様、エア・ウォーターグループの3団体は、約3年に渡り「持続可能な物流体制の構築」、「物流を通じた青果の付加価値向上」「規格外青果の活用」を協議・検討してきました。いずれも農業経営に直結する重要な観点であり、これからも安心して生産活動を続けるには必要不可欠な取り組みです。これら3つの取り組みを通じて、熊本県の一次産業の課題解決に共に挑んでまいります。

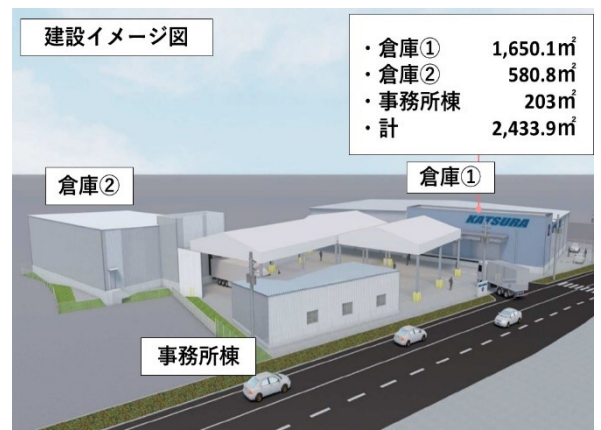
「持続可能な物流体制の構築」では、熊本低温物流センターと関西の中継・配送拠点を活用し、物流効率を高めた新しい物流ビジネスモデルを目指します。交通の利便性が高い県北に位置する本施設が稼働することで、熊本県内で低温保管ができるようになります。また、地元の物流会社と連携し、荷積みの効率化や共同輸送による積載率向上などの取り組みを通じて、安定的な幹線輸送の仕組みを構築します。

「物流を通じた青果の付加価値向上」では、低温物流センターと低温輸送車両を駆使した青果物流のコールドチェーンを確立し、これまで以上に産地から食卓までの流通品質にこだわった取り組みを実現してまいります。さらに、関西圏で有する既存の流通ネットワークを活用することで、青果販売の増加にも貢献してまいります。

「規格外青果の活用」では、出荷の規格に合わない青果物を活用した商品の開発や販売を通じて、「青果のもったいない」の低減を図るとともに、生産者の所得向上に貢献します。将来的には、本施設の一部を活用した青果加工事業の構築を目指します。

4. 熊本低温物流センターの概要

施設名称 : 株式会社桂通商 熊本低温物流センター
所在地 : 熊本県玉名市寺田 367
敷地面積 : 5,804 m²
建設面積 : 2,434 m²
温度帯 : 5°C~15°C (チルド倉庫、3 温度帯で対応可能)
投資額 : 約 6 億円
新規採用 : 20 名
着工予定 : 2023 年 6 月下旬
事業開始 : 2024 年 2 月 (予定)



以上

【本件に関するお問合せ先】

エア・ウォーター株式会社 広報・IR 推進室 E-mail : info-h@awi.co.jp
TEL : 06-6252-3966 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2 丁目 12 番 8 号
株式会社桂通商 経営企画部 松本
TEL : 075-682-2350 〒601-8143 京都市南区上鳥羽麻ノ本町 18